

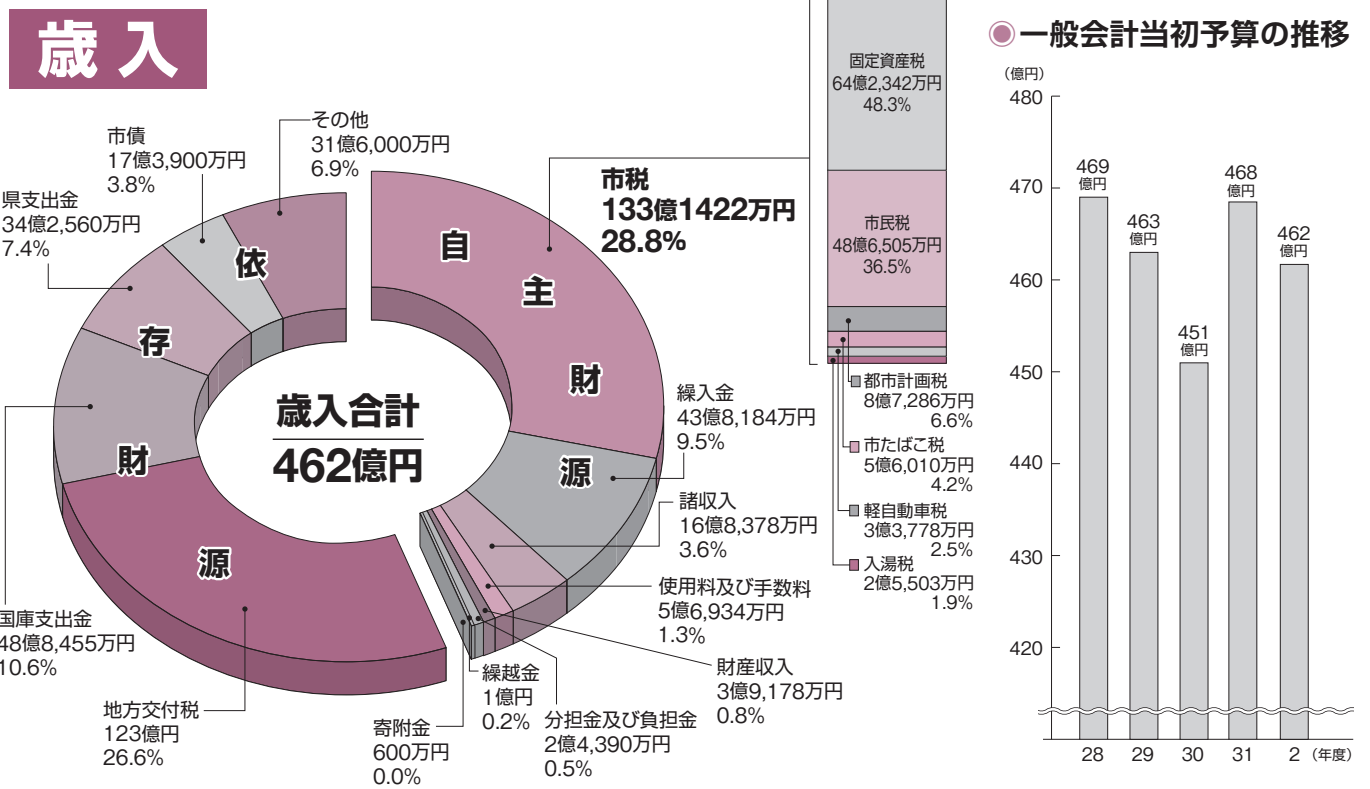
令和2年度 予算

人と自然、そして文化がおりなす 活力とやさしさがあふれる 飛驒高山を目指して



総額764億円のあらまし

市では、2月25日から開会した市議会定例会に、一般会計462億円、特別会計・企業会計302億円余の令和2年度予算案を提案しました。



新年度予算案のポイント

令和2年度は、新しい元号となつて初めて編成する予算となり、新しい時代の幕開けとともに、第八次総合計画基本計画の後半5年間の1年目として、本市にとつても新たな時代の幕開けとなる節目の年度です。

こうしたなか、令和2年度予算は、本市の都市像である「人・自然・文化がおりなす活力とやさしさのあるまち飛驒高山」の実現に向けた取り組みを継続しつつ、新たな事業を加え、「希望ある輝くまち高山」の実現にむけた編成を行いました。

特に2年度は、事業承継支援やマイナンバーを活用した消費活性化の推進、スマート農業導入支援、飛驒民俗村再整備、宮川人道橋左岸の賑わい創出施設整備などの仕事の充実と産業の振興に関する取り組み、産後ケアやひとり親家庭等への支援、児童遊園地整備費助成、地域医療確保、電子黒板・デジタル教科書の配置などの暮らしの安心と人材の育成に関する取り